

鷹をつれ戻した紋三郎狐

むかし、あるお殿さまが笠間で鷹狩りをしておりました。鷹狩りとは、飼いならした鷹を放して、鳥や小さいけものなどを捕えさせる猟のことです。

ところが、狩りが終っても鷹が一羽だけでもどつてこないのです。「これは狐のしわざに違いない。」お殿さまは、大事にしていた鷹をなくしたものですから、大そう腹を立て

「このあたりの狐を残らず退治してしまえ。」と家来たちに命じました。

次の日、狐狩りをはじめようとしていたお殿さまの前に、見知らぬ老人があらわれまし

た。「どうか、狐狩りを三日ほど待

っていただけないでしょうか。必

ず三日後には鷹をつれもどした上

に、悪い狐もつれてまいります。」

というのです。お殿さまは、

ひとまず老人のことばを

信じることにし

ました。そして

約束の三日後、

老人のことば通

り、鷹がお殿さ

まのもと

にもどつ

てきたのです。

お殿さまは、狐の件も

確かめようと、先日の狩り

場に行ってみると、驚いたことに、そこ

に一尾の狐が倒れておりました。

実は、その老人というのは、笠間稲荷の

紋三郎狐が化けたもので、いたずらをし

た狐を捕えて、殿さまとの約束を果たし

罪もない多くの仲間を助けたのです。

